

EDELWEISS

NOVEMBER 2023

秋の醍醐味

この季節、「秋の日は釣瓶落とし」「秋の鹿は笛に寄る」「一葉落ちて天下の秋を知る」と、秋に関連することわざが多いように思えます。この一年も既に終盤かと思いきり、時間が過ぎる速さにギョッととなり、年末の忙しさを思っただたため息。気温が低くなり、陽が短くなるのが日本よりさらに加速的に感じるスイスでは、この少々侘しい趣のことわざがさらに実感として迫ってくるような気さえてしまいますね。

とはいえ「天高く馬肥ゆる秋」という心晴れやかな言い回しもあって、これぞ秋の醍醐味です。スイスでは夏の間に高地でしっかり牧草を食べた牛たちが牛舎に戻ってきて、さながら「牛肥ゆる秋」です。ある精肉店のオーナーが、牛肉はこれからどんどん美味しくなる季節だと胸を張って言っていましたし、スーパーに足を運べばキノコやカボチャ、クリにカキ……。そう、秋といえば、夏の間に蓄えた英気の成果を、ご褒美のごとく楽しむ季節なのです。実りの秋、収穫の秋は、普段の食卓に並ぶものが私たちの営みの成果として、どこか一層誇らしくも感じられます。新しいレシピを試し、温かいものを食べてほっとする家族の顔を見渡し、毎日の食に楽しみを見出せば、寒さに負けない気概も養えるというものです。今月のEDELWEISSでは、狩猟シーズンのDavosを紹介する記事や、食べ物を研究する際の土台となる植物分類学のコラムと、やはり食に通じる読み物が揃っておりますので、ぜひお楽しみください。

また、チューリッヒ日本人会のX(旧ツイッター)のアカウントはもうチェックしていただけましたか？チューリッヒ生活に密着した情報のハブになればと、始動しています。フォローよろしくをお願いします。
アカウント名 @JapanClubZurich (MA)



Gönn dir was im Herbst!

秋といえば食に続いて「芸術の秋」。会員の皆様から寄せられた情報を掲載している「掲示板」では、今月はコンサート情報が充実しています。またKETTEのコーナーでは、チューリッヒ在住のヴァイオリニストさんをご紹介します。コートを着て濡れた落ち葉を踏みながら歩く秋は、なんとなく心が揺れ動くものですが、忙しい日々の中で少しだけ時間をとって、音楽に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



- ◆ 巻頭文 『思考停止という病』 青砥 玄
- ◆ 私のイチオシ、シェアします！ Vol.36
『食の秋のDavosとおまけにVals』 ドレ ゆきこ
- ◆ 古典籍スクール 其の十三 『江戸の歌舞伎熱』 ブランド 啓子
- ◆ 我々の食べ物はどこから来たのか？ 第7回
朝ドラ「らんまん」モデルの牧野富太郎から植物AI研究へ 清水 健太郎
- ◆ KETTE Vol.172 坪井 悠佳さん (Zürich在住)

巻頭文

「思考停止という病」

青砥玄(会長)

欧州に住みながら日本を見ることにより、私達は日本の別の側面がよく見えるものです。それは欧米と日本を比較して見るからなのでしょう。日本では同調圧力が強い、自分で考えない、メディアの主張や世間の風潮に流される傾向が強い、などです。日本のバブル崩壊後の「失われた30年」と言われるように、デフレ経済があまりにも長く続き、庶民の給料は上がらないのが当たり前となっています。根がまじめな日本人が、あくせくと真面目に働いていても、生活は楽にならない社会。そんな中では、じっくりと考える“心のゆとり”がないのかもしれない。そんな日本に暮らす日本人に対してとても心が痛む思いです。

日本航空の再建を果たし経営の神様と称された稲盛和夫氏や、経営再建のプロと呼ばれ日本郵船、日本航空貨物、JR貨物などを再建した石田忠正氏などが共通して訴えているのが、「業界や組織が違っても経営の基本は、全て人。人の意識・意欲と知力が原動力」(石田氏)、企業は人であり、国家も人だという事です。その日本人の人間力の低下が国力全体の低下にも影響していると感じます。それではそのような逆境の中で、日本人一人一人がいかんして元気を取り戻すことが出来るのか、という問題提起に対して参考になるのが、認知科学者の苦米地英人氏著の「思考停止という病」です。氏は「日本人は思考停止している！自分の頭で考えない人は、何度も同じ間違いを繰り返す。なぜ自分の頭で考えることが出来ないのか？それは端的に言えばバカだからである。バカでなく生きること、思考停止せずに生きるとは、自分次第で誰にでもできる」と警鐘を鳴らします。

なかなか衝撃的な言葉ですが、思考停止を乗り越える方策が提示されていますので、希望もあります。私達は、仕事の結果を出す為にも、自分の人生を豊かにする為にも、自分の頭で考える訓練がどうしても必要だと思うのです。とても興味深い内容ですのでご紹介いたします。

なぜ日本人の思考は停止するのか？

「思考する」とは、物理的な脳の活動ではなく、創造的な問題解決活動、クリエイティブな思考を指しています。なぜ日本人はこのクリエイティブな思考が停止してしまっているのでしょうか？

1. 学校教育と会社の洗脳

「日本の学校教育は、暗記中心の教育システムで、考えることを前提に造られていないのが問題」と苦米地氏は指摘します。なるほど日本では小学校から高校まで知識の習得を目的とし、個人の成績は、正しく覚えられたかをテストされ学力として判断されています。一方アメリカの教育は、知識の習得以上に重要視されるのが、自分の頭で考えること。何を知っているか以上に自分はどうか考えるのが求め

られます。授業中に君はどう考えた？君はなぜそう思った？君ならどうする？などとよく聞かれます。ディスカッションによる授業も多くあります。知識を得ることは重要ですし、まずは知らないことを覚えることからすべてが始まりますが、其処から自分で考えることが出来てはじめて本当の意味で勉強したといえます。結果的に私達は学校教育により思考停止を強要されていたと著者は言います。

学校の次は会社です。入社すると、会社の先輩の言うことをひたすら聞くことが求められます。会社のやり方を覚えさせられるのが最初の約3年間で、その会社や業界の論理と慣習に染められてゆきます。なんでもいいから新しいことをしようと思っていた人、業界を変えようと思った人はやる気があった人も気付けば言われたことしかやらない、与えられた仕事に対して工夫しないただの平凡な人になってしまふといえます。

2. 知識不足が、思考停止を生む

脳は知っていることしか認識できません。つまり知らないことを脳は認識が出来ないのです。さらに知識があっても自分にとって重要だと思っていなければ脳は認識しないという特徴があります。人間の認識は過去の記憶で出来ており、自分が重要だと思ふこと、脳の中にある知識、記憶と照合することで初めて認識が出来ます。例えば日々経済ニュースはネットなどでたくさん流れていますが、経済学や経済に対する知識が無い人には、それらの情報は右から左へ流れてゆきます。私達は、テレビメディアやツイッターなどを通じて仕入れた情報で何となく判断しているにすぎないのです。

3. ゴールがないので思考停止に陥る

ゴールとは自分が本気で成し遂げたいことであり、本気で達成したいゴールがあるからこそ、思考を動かすパワーが生まれます。ゴールがないというのは問題意識を持っていない状態です。

自分の頭で考える為の技術とは？

それではどのようにして、自分の頭で考える人間になることが出来るのでしょうか？

そのためには、思考停止してしまっている理由の反対を果敢に実行すれば良いのです。

1. 現状を抜け出し、常識を疑う

自分の頭で考えるためにまずやるべきは、自分が常識だと思っていることを疑うのです。

「この世に、唯一絶対的な不変の真理はない」約2,500年前の釈迦の言葉です。「世の中のノーマルだと思うものをすべてを疑え」と著者も言います。なかなか過激な発言ですが、そうでもしなければ、私たちの思い込みや既成概念は壊すことが出来ないからでしょう。正しいということについても同じで、何が正しいかは相対的なものでしかありません。西洋の論理が間違っているとか、右翼・左翼は間違っているなどと言ってもそれぞれの視点から見ると、自分達こそが正義なのです。どちらの側にも彼ら側の論理があります。こういった二元論的に考えると、正義は全く別のベクトルを示します。ロシアとアメリカの正しさは違うのです。

ノーマルというのは他人から押し付けられた居心地のいい場所すなわちコンフォートゾーン

で、権力者や周りは周囲と同じであることを求めます。

特に日本ではその傾向(同調圧力)が強く、ノーマル、常識、普通であることが求められます。ですから自分の頭で考える為には、「ノーマルを徹底的に疑う」ということが大切です。

現状から抜け出す為にも普通を憎み、ノットノーマルを生きてゆきましょう。その為には、

- ・普通か、他人がどう思うかは気にせず判断したり、選択したりする。
 - ・自分が興味を持ったことに本気で取り組む。
 - ・自分に正直になって、やりたいことだけをやる。やりたくないことにNOと言う、
- そんな存在を目指してみてください。

2. ゴールを設定する

年収や給料を能力評価としてとらえている人がいますが、それは逆にコーチングの視点から見ると、年収や給料は、大体本人がコンフォートゾーンとして設定している額になってしまうといえます。ですので、このゴールは今の自分では絶対に達成できないゴールでなければなりません。ゴールを設定すると、今の自分がコンフォートゾーンの中に居なくなり、もっと高いところにコンフォートゾーンが出来、自分が変わるというイメージです。だから昨日までのように生活し、思考したりする日常が居心地の悪い状態になります。その良い例が大谷翔平です。18歳の時、大谷は自分の人生の目標を設定し、それを果敢に追求し続け、今では世界有数の人物に成長しています。

3. 圧倒的な知識を習得する

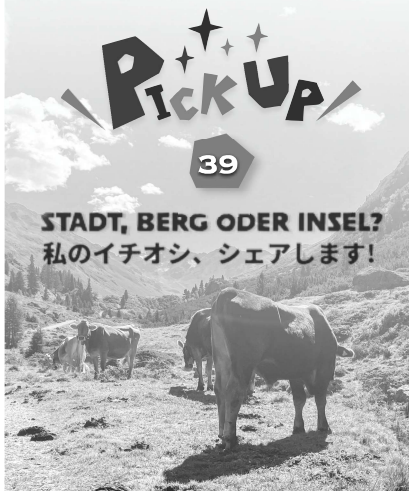
ゴールの設定が出来たら、次は知識量を増やすことです。自分の頭で考えるためには、圧倒的な知識量が必要です。既にゴールを設定している訳ですから、勉強したいことだけをすれば良いのです。本当に興味があって、ゴールにつながっていることであれば、その知識を入手することは何より楽しいはずで、筆者は知識を手に入れる一番良い方法は、本を読むことだと断言しています。是非思考停止しないためにも、読書などによって常に知識を習得し続ける習慣を持っておきたいものですね。

一隅を照らす

これからの時代は不安定で変化の激しい時代です。何が正解か判断がますます難しい時代になっています。そんな中では、自分の頭で考えて判断することは絶対的に必要です。そしてたとえ間違っていたとしても、その結果に責任を持って受け入れるという訓練を捨てなければなりません。自分のコンフォートゾーンに安住し続けるのではなく、一人一人が自分の人生の主人公として自立してゆくことが大切ではないでしょうか？

私達一人一人には天与の個性が備わっています。世界に一つだけの花なのです。横を見るのではなく、その個性を自ら磨いてゆく努力を続けることにより、個人として輝いてゆくと思うのです。それが天台宗の開祖・最澄の残した言葉、一隅を照らすという生き方にもつながってゆくのではないのでしょうか？

ご意見ご質問は青砥まで
gen.aoto@toyota.ch



食の秋のDavosとおまけにVals ドレゆきこ

スイス最大の州Graubündenには見所がたくさんありますが、亡くなった義母が幼少期から喘息の療養のために滞在していたDavosは夫の家族にとって身近な場所で、今でもちょっとした休暇と言えばDavosに行くことが多いです。世界経済フォーラムやスキリゾートとして有名なDavosですが、スキーシーズンと共に私が好きなのは、秋です。その理由は後ほど…。先月ハイキングに行こうという話しになったのですが、ここ数年怪我が続いて膝や足首を痛めている私は、高低差が大きい山道は避けたいと思っていたところ、義姉の勧めでDischmatal (ディシュマ谷)に行くことになりました。

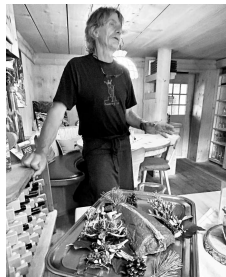


Dischmatal

このルートは山沿いの緩やかな谷に広がる牧草地をDischmabach (ディシュマ川)に沿って歩く片道12キロ程のコースです。往復の自信がなかったので、往きはバスで行くことにしました。

Davos Dorf駅からDürrboden行きのバスに乗って終点で降ります(約30分)。降車した直ぐの所にBerggasthaus Dürrbodenという山小屋があり、出発前に飲み物を飲んだり、歩いて登って来た人たちは食事をしたりすることができます。私たちは早々に出発してDischmatalをDavos Dorf方面に下って行きました。天気にも恵まれ、両側に続く山々の谷間に青空と牧草地が広がる景色は、スイスだなあと実感します。Jakobsweg (サンティアゴ巡礼路)でもあるこのルート、小川の流れと牛の鳴き声とカウベルの音を聞きながら、そして時々牛たちに道を阻まれて迂回しながら、気分良く歩くことができました。

3分の2程歩いた地点のTeufi村でランチタイムにすることにし、Restaurant Teufiで大好物のBündner Gerstensuppe (グラウビュンデン名物麦スープ)と季節のデザートVermicelles(モンブラン)をいただきました。満腹になった後は再び出発。そしてあっという間にDavos Dorfに着きました。このハイキングコースは景色が素晴らしいと同時に、足に自信のない人や小さいお子さんたちでも十分楽しめるコースだと言えます。また、マウンテンバイクでも楽しめると思います。



VeltlinerstübliのGeorgさん

さて、秋のDavosでは食いしん坊の私に欠かせない楽しみがあります。チューリッヒでも9月の狩猟シーズンになると「Wildzeit」の看板を出すレストランも多いのですが、Davos周辺のレストランでは地元

の野生鳥獣の肉料理を食べることができます(ベジタリアンの方ごめんなさい)。私たちが年に一度このシーズンに行くのは、Davosから車で20分程のMonstein村にあるVeltlinerstübliで、義父が生きていたころ何度か連れて行ってもらって大ファンになったレストランです。こちらは北京オリンピックのダウンヒルスキーで金メダルを獲得したJasmine Fluryさんのご実家で、お父様の

Georgさん自身はハンターでもありシェフ、英語も流暢でとてもフレンドリーなお母様のCorrinnaさんがサービスをしてくださいます。狩猟シーズンになるとGeorgさん自身が仕留めた動物の料理がメニューに登場し、地元のキノコや栗も副菜として並びます。中でも私たちのお勧めはRehrücken(鹿の背肉)のローストです。臭みは全くなく、マイルドでジューシーです。一匹の背肉部分を料理するので1オーダーは2人からで、2コース用意されます。かなりの量なので、お腹を空かせて行ってください。そして自家製デザートもお忘れなく。

ところで、今回私たちが行った時、隣のテーブルのカップルがモルモットの肉を注文していて驚きました。ハイキング途中で何匹か見かけましたが、モルモットも食べられるのですね！狩猟シーズンは9月10月なので、今年はまだ遅いかもしれませんが、狩猟シーズン以外でも地元産の食材のお料理が楽しめます。もし行かれる場合は事前に電話で確認してくださいね。



Vals村

今回の小旅行ではDavosの帰りにValsの温泉に寄ってきました。このテルメはPeter Zumthor氏が1993年に設計した施設で、その後の経営者と地元コミュニティがぎくしゃくした関係であることは別にして、デザインも景観も素晴らしいものでした。また、併設されているホテルのひとつHouse of Architectsでは、著名な日本人建築家である安藤忠雄氏と隈研吾氏デザインの客室に宿泊することもできます。和の雰囲気を取り入れたお部屋から見上げるアルプスもいいですね。Vals自体もとても可愛らしい村で、私たちが訪れた翌日はちょうど牧下りの日だったのか、谷間の村から見上げるとたくさんの牛たちが急斜面の牧草地を降りて来るのが見えました。その後、私たちは夏休み後で人影少ない村のカフェでゆったりとお茶を飲み、また来たい思いで家路につきました。

GlobAS Relocations Europe GmbH

スイスからのお引越はグローバスリロケーション ミュンヘン支店にお任せを！創業20年以上、8名の経験豊富な日本人スタッフによるお引越しサービス。ビデオ下見からの見積り作成(無料)が可能となりますのでまずはお気軽にご連絡ください！



HP: <http://www.globas-relo.com>
Email: zurich@globas-relo.com
Tel: +49 (0) 89-189-386-21 (日本語直通) 担当: 三嶋

大使館からのお知らせ

領事出張サービス

2024年2月 チューリッヒ
日時: 2024年2月17日(土) 10:00 -12:00, 13:00 -15:00
場所: チューリッヒ日本人学校日本式2階音楽室
住所: Florastrasse 18, 8610 Uster
申込締切: 2024年2月1日(木)必着
※詳しくはHPをご参照下さい。
下記のQRコードからアクセスできます。

当日ご予約のない来訪はご遠慮ください。お申し込み締め切りは上記(開催日、場所)の通りとなります。来場者の混み合う状況を避けるため、来場された方のお待ちいただく時間を短縮すべく、受け取り時間を指定させていただきます。受取時間は、出張サービスの約1週間前にメールで連絡いたします。



1. 鸚鵡石 (おうむせき)

前は市川團十郎という名跡と8代目團十郎 (1823-1854) の謎に包まれた死についてお話しました。今回は実際のお芝居での科白・台詞 (せりふ) について見てゆきましょう。

歌舞伎出版物に鸚鵡石 (おうむせき) というのがあります。台本のうち、名台詞 (めいぜりふ) だけを部分的に抜き出したもので、本来は俳優の声色 (こわいろ) を覚えるための小冊子で、別名声色本。この種の本は1670年 (寛文10) ごろから刊行されていましたが、1772年 (安永1) 京都の大津屋友吉が、オウムが答えるように音を反響させるといわれる鸚鵡石 (注1) にヒントを得て『物真似狂言 (ものまねきょうげん) 鸚鵡石』と命名して以来、「鸚鵡石」は声色本を指すようになりました。役者のプロマイドとして飛ぶように売れた浮世絵 (役者絵) と並び、歌舞伎ファンの間で大層もてはやされました。このように出版業界と歌舞伎業界はしっかりと支えあっていたのです。明治後期以降には刊行は衰えましたが、名台詞の抜き書きを鸚鵡石とよぶ習慣は残りました。

2. 七五調

江戸後期の歌舞伎作者、河竹黙阿弥 (1816-1893) は、生涯に360余もの作品を残しましたが、特に七五調の台詞が有名です。もともと七五調は奈良朝末期ごろから韻



写真(上) 3代目歌川豊国画『青砥稿花紅彩画』文久2年(1862年)3月、市村座 (国立劇場蔵) 右から日本駄右衛門、弁天小僧菊之助、忠信利平、赤星十三郎、南郷力丸

文 (いんぶん) の主流となり、中世期の軍記や謡曲、近代の唱歌に至るまで、その軽快で優美な調子が好まれてきました。歌舞伎のセリフにも黙阿弥以前から使われてはいたのですが、七五調セリフの覚えやすく聞きやすい流麗さが、黙阿弥作品の特色とされています。昔、中国の白浪谷 (はくはこく) を住みかとした盗賊がいたことから、盗賊を題材にした芝居を「白浪物、(しらなみもの) といひ、その作品を多く生み出した黙阿弥は白浪作者と呼ばれました。

3. 演目『青砥稿花紅彩画』 (あおとぞうし はなの にしきえ)

この作品の「青砥」は盗賊を追う奉行、青砥藤綱に因みます。登場する五人の盗賊たちはお家騒動を背景に暗躍。山場は二幕目第一場で浜松屋をゆずろうとする女装の美青年、弁天小僧菊之助の名乗り (男であることを明かして刺青を披露する)。ここでの「しらざあ言って聞かせやしょう」のセリフはあまりにも有名です。

また二幕目第三場では派手な男伊達 (おとこだて) (注2) の扮装に身を包み、捕り手を前に五人組が勢揃い。一人ずつ「渡り台詞」で見得を切り自己紹介します。

縁語や掛詞を駆使した七五調の「連ね」で名乗る姿は、錦絵そのままの歌舞伎の様式美の凝縮とも言えましょう。かつて批評家の戸板康二氏は、「黙阿弥物の魅力は…その喋りやすいセリフが役者たちに人気があり、セリフが音楽化してゆくことによって、動きもまた舞踊化し、段取り良く手順がつく」としています。結局盗賊たちはお糺にかかるか自害してしまうのですが。。

※注1 随筆・翰軒小録 (ゆうけんしょうろく) 伊藤東涯 (1736頃) 「一の大岩石山の半腹に偃然たり。即鸚鵡石也。〈略〉其岩の上に居て云へば、彼石も亦人の言ふ如く対ふるなり。謡を謡ひ、鼓を打ち、三弦など弾ずれば、石も亦夫々の音をなし、ささやけばささやく声をなす。わめけばわめく声をなす」

※注2 わが身を省みず義理と名譽、人のために一肌脱ぐ、義侠心を持ち、弱きを助け強きをくじく人。いわゆる俠客。

(豆助にさせる次回予告)

今回は歌舞伎狂言の作者、鶴屋南北のお話です。どうぞお楽しみに!



毎年面白いコンサートがズラッと並ぶこの「Herbst in der Helferei」シリーズ。今年はお出来れば毎日行きたかった! チューリッヒ歌劇場管弦楽団改めフィルハーモニア・チューリッヒのコンサートマスターと、トーンハレ管弦楽団の首席チェリスト、バイエルン州立歌劇場のバス・バリトン、そして上昇気流に乗っているソリスト達が毎日代わる代わる登場する中、9月21日のアヴィ・アヴィタルを迎えたコンサートに行ってきました。

毎年の面白く、コンサートがズラッと並ぶこの「Herbst in der Helferei」シリーズ。今年はお出来れば毎日行きた

世界的有名なマンドリン奏者なので以前からずっと聴きたかったのですが、忙し過ぎるとい「マンドリン…」と、後回しにしてしまっていた事を後悔するほど熱い演奏でした。フェスティバルオーケストラ Stringendoはピタッと息が合っていて、聴いていて心地良くなります。全員がプロを目指しているわけではないのに、スイスって凄い文化レベル! 来年は聖ペーター教会改装のため、Neumünster教会で催される「Herbst in der Helferei」、プログラム発表が楽しみです。今回は関係者のご好意により、抽選で数名の会員が招待されました。機会があれば感想をお寄せ頂けると、他のコンサートの模様も知れて嬉しいですね。



チューリッヒ大学日本学名誉教授 クロツペンシュタイン・エドゥアルドによる (広告)

歌人 与謝野晶子 (1878-1942) の処女作

「みだれ髪」 399首のドイツ語への全訳完成!

2023年9月27日、ミュンヘン(ドイツ)の有名な出版社 Manesseより刊行。

国際標準図書番号: 978-3-7175-2540-0

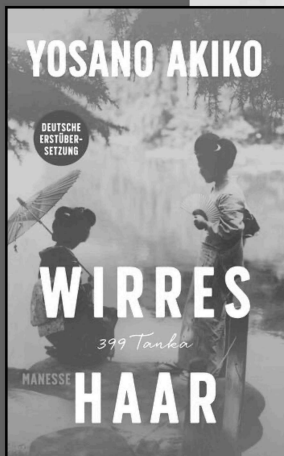
◆ 与謝野晶子「みだれ髪」の講演会と朗読会 (要予約)

日時: 2023年12月6日(水) 午後6時より

会場: リートベルグ博物館 Museum Rietberg, Vortragsaal Parkvilla Rieter
Gablerstrasse 15, 8002 Zürich, Tel: 044-415 31 31

ご挨拶: リートベルグ博物館館長 Annette Bhagwati

講演並びに短歌のドイツ語朗読: Eduard Klopfenstein / 日本語朗読: Kyoko Ginsig



『Cafe Felix 2』10月7日オープン！



「Cafe Felix 2がBahnhof, Strasseにオープンした」という情報を会員の方から戴き、早速行ってきました！小雨混じりの悪天候を吹き飛ばすほど、花に満ちた春っぽい可愛さでした。

老舗チョコレート屋さんのteuscherがCafe FelixとなってBellevueに店を構えたのが2008年。その「小劇場」を思わせるゴージャスな作りは、それだけで観光名所でした。それから15年後の今年、元Manorがあったビル改装を経てオープンしたCafe Felix 2は、コンセプトは同じながらも、もう少しすっきりさっぱり、ロマンティックで、窮屈さがありません。お買い物で疲れた時の一服が楽しくなりそうですね。また、毎週日曜日の13時からはランチコンサートがあるということです。これからお散歩も寒くなる季節、暖を取りながら生演奏が聴けるなんて贅沢な日曜日の午後になりそう！

Opusクラシック賞

昭和の時代に日本で流行った「レコード大賞」を彷彿とさせるドイツの音楽賞Opusクラシック賞が10月8日、ベルリンのコンツェルトハウスで授賞されました。その受賞者の中に、今年日本人が3人もいたのご報告します！27部門のうち「若手アーティスト」部門に選ばれたのはピアニストの藤田真央で、ソニークラシカルから出たモーツァルトのピアノソナタ全集が評価された結果です。



このアルバムが天下のソニーから出るという話題は、2021年秋の音楽業界でも驚きのニュースでした。日本人ピアニストとして初めて同レーベルと専属ワールドワイド契約を結び、そのデビュー作から全曲版に挑戦させるということは滅多にないからです。

彼はスイスで行われるクララ・ハスキル国際ピアノコンクールで2017年優勝し、チャイコフスキー国際コンクールでは2019年、2位に輝きました。ヴェルビエ音楽祭でも常連、去年はルツェルン音楽祭にデビュー、と現在はそれを裏付けする活躍を世界中で見せています。



2人目は「コンサート録音」部門で選ばれた、コンチェルト・ケルンのコンサートマスター平崎真弓です。同オーケストラと録音した「ビゼンデル」が評価された平崎は、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学の教授も務めています。

3人目は、日本でもよりドイツでの評価の方が高かった印象のある故・坂本龍一に与えられました。「映画音楽 / スコア」部門で、Netflixのアニメ・シリーズのサウンドトラック「Expection」による受賞ですが、坂本龍一の喪失はドイツ音楽業界でも悼まれています。

これからも、頑張れ、日本人！

BULLETIN BOARD

売ります・買います、イベントのお知らせなどご自由にどうぞ！

Nipponバレーボールクラブ

在チューリッヒの日本人で形成されたクラブです。初心者から経験者まで、随時メンバー募集してます。毎週木曜日20:00から練習しています。バレーが好きの方、試合を楽しみたい方、気軽にご連絡ください。詳細はメールまたはインスタグラムからお問い合わせください。
Nipponvbc@gmail.com
@nipponvolleyzh <吉田>

家具を探しています

ソファ、椅子、箆笥、Garten Möbel、タイヤラック等。西洋アンティーク、和風、モダン、新古品。
処分セール、帰国セールの情報も下記までお願い致します。
0793211197 <佐々木>

林結花 フラメンコ公演

スイス10周年、タパスとフラメンコの会です。
チューリッヒTheater Stok
11月19日(日) 開場17時、開演18時

最前列席50フラン 普通席45フラン
学生35フラン(普通席のみ)
チケット <http://yukaflamenco.ch/japon> <林>

深田勇馬 津軽三味線ソロコンサート

11月10日(金) 20時開演
場所: Kaiserbühne im Amtshaus,
Hauptstr. 35, 5466 Kaiserstuhl/AG
大人35フラン 小人12歳以下25フラン
問合せ: yuma.shamisen@gmail.com <酒井>

晩秋のひととき、ピアノの名曲をお楽しみ頂けるソロリサイタルです

11月26日 日曜日、17時30分
パッハ・主よ人の望みよ喜びよ、シューベルト・即興曲、ブラームス・ラプソディ、間奏曲、ショパン・スケルツォ等大橋雅子(ピアノ)
Villa Irniger
Schneckenmännstr. 8 8044 Zürich
入場無料、コレクテ、アペロ・ビュッフェ有
要予約 dklmce0511@gmail.com <大橋>

日本人音楽家による室内楽の夕べ

12月2日(土)17時
ロッシェニ・弦楽の為のソナタ、シューベルト・ピアノ五重奏曲「ます」等：
坪井悠佳(バイオリン)、神谷タンナー未夏(ビオラ)、横田誠治(チェロ)、藤森志保(コントラバス)、大橋雅子(ピアノ)
Villa Irniger
Schneckenmännstr. 8 8044 Zürich
入場無料、コレクテ、アペロ・ビュッフェ有
要予約 yukatsuboi@gmail.com <坪井>

”Musique et Vin”音楽とワイン

2023年12月9日(土)14:30
Aarbergerhus Ligerz
松村茜(ピアノ)
Constantin Macherel (チェロ)
フォーレ、ショパン、ブラームスと中世の街並みが残るリゲーツで
ワイン農家Weingut SchlösßllのFabian Deutsch氏と共に。
詳しくは: akanematsumura.com <松村>

我々の食べものは
どこから来たのか？



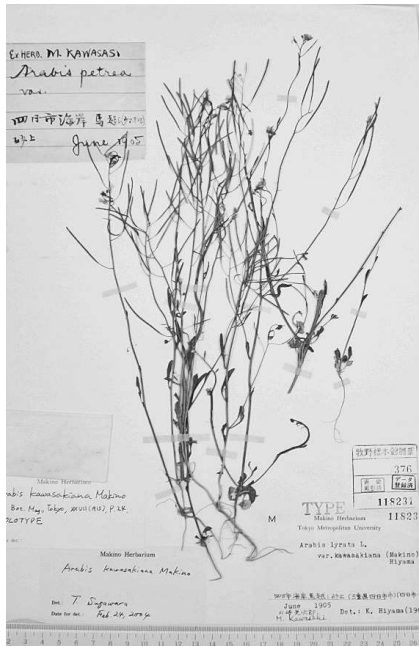
Arabis kawasakiana
©Denali National Park and Preserve, AK, USA

第7回 朝ドラ「らんまん」モデルの牧野富太郎から植物AI研究へ

清水健太郎 (進化生物学者・チューリッヒ大学教授)

2023年度前半、植物学者牧野富太郎をモデルとしたNHK朝ドラ「らんまん」が放送されたことで、植物学が注目される機会が増えました。そこで今回は、食べ物を研究する際の土台となる植物分類学と牧野富太郎について、私たちの最近の関連研究とともに紹介したいと思います。

植物分類学者の牧野富太郎(1862-1957)は、1,200を超える植物に学名をつけ、食べ物になる植物も研究対象でした。「らんまん」第22週「オーギョーチ」(愛玉子)のテーマは、牧野富太郎が命名した台湾の植物、アイギョクシイタビでした。折しもこの夏に私も台湾旅行で、種子から作るゼリーをデザートとしていただきました。「らんまん」のストーリーはフィクションの部分も多いのですが、植物関連のディテールは驚くほど精緻に作り込まれていました。

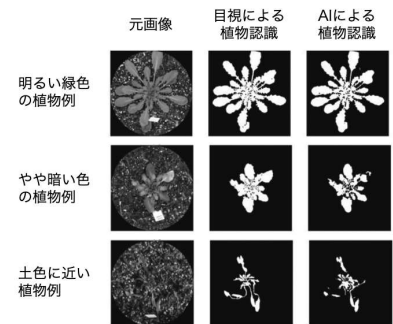


私が植物研究を始めた20世紀終わり頃は、世界中の植物学者がシロイヌナズナという一つの種に集中して、遺伝子DNAの機能解析を進めていました。私としては、もともと野山を歩いて多様な植物を見るのが好きだったので、野外でシロイヌナズナに似た植物を見ると興味を持ち帰って調べてみたりしていました。そうした植物の一つが、琵琶湖や伊勢湾に生えているタチスズシロソウで、牧野富太郎によって*Arabis kawasakiana* Makinoという学名が与えられていたのです(*写真)。DNAの解析をすると、これまでの分類とは違ってシロイヌナズナの中間のミヤマハタザオに近いことが分かり、学名の変更(組み換え)が必要になりました。昔は見た目だけを頼りに生物を分類していましたが、最近のDNAを用いた解析では必ずしもそれが正しくなかったというケースが多々発見されており、そのような場合には変更が行われるのです。

タチスズシロソウの植物分類学研究のために、図書館で古い文献をあさって推理をすることになりました。朝ドラでもうすず描かれていましたが、牧野富太郎は標本の整理をちゃんと行わなかったため、その整理は没後50年たっても完了していないところがあります。東京都立大学(八王子市)の牧野標本館には、牧野が管理していたタチスズシロソウの標本が何枚もあります。学名を変更するためには、牧野が名付けた標本1枚がどれかを特定する必要がありますが、牧野はどれなのか記していませんでした。そこで、牧野自身も創刊にかかわった「植物学雑誌」の1913年の論文を読むと、川崎光二郎氏から送られた標本をもとに*Arabis kawasakiana*と命名したと記述されていました。種小名の*kawasakiana*は川崎光二郎氏に献名されているのです(朝ドラ最終週のスエコザサと同様です)。川崎光二郎氏採集の標本となると4枚に限定できました。標本作成日を調べると、3枚は1913年春

以降で、論文が出た後でした。こうして、牧野が命名するのに利用した標本は、写真の一枚の標本と特定できたのです。ラベルを見ると、四日市海岸で採集との記載が読み取れました。これを基準標本として2005年に、*Arabidopsis kamchatica* subsp.*kawasakiana* (Makino) K. Shimizu & Kudohという学名の組み換えを行いました。学名が変わっても、始めに命名したMakinoの名はこうして残るのです。

タチスズシロソウのDNA解析では、なかなか期待通りの結果が出なくて苦労していましたが、ある日、異なる植物種が交雑して融合した「異質倍数体種」だと考えれば説明がつくことに気づきました。実は、第1回で取り上げたパンコムギなど、我々の食べ物となる植物の多くが異質倍数体です。それ以来20年ほど、モデル生物シロイヌナズナの膨大な研究成果を生かして、異質倍数体の実験・コンピュータ解析手法を開発し、それをより複雑なパンコムギなどに適用する研究をしてきました。(下図) AIによる植物認識(Nature Comm 14:5792, 2023)



ちょうど「らんまん」が佳境を迎えたこの9月に、AI(機械学習)を用いて野外圃場で撮影した画像を解析するハードウェア・ソフトウェアを開発して発表しました。EDELWEISSに交代で執筆している清水(稲継)理恵や多くの研究者とともに、タチスズシロソウなどをスイスと日本で3年間栽培し、400万枚以上の画像を解析しました。その結果、異質倍数体の植物は、両親の環境応答を組み合わせて、変動環境に頑健な性質を持ちうるということが分かりました。環境変動が進む中、食物となる植物に頑健性を付与する研究につながると期待しています。(右QRコード: 関連動画) 牧野富太郎が研究・命名したタチスズシロソウは、現代のAIを使った研究にも重要な役割を果たしたのです。



Youtube「野外で生育しているシロイヌナズナ」

参考文献
田中伸幸「牧野富太郎の植物学」
NHK出版新書2023
日経サイエンス 2023年7月号
(特集: 植物愛! / 愛情の神経科学)

9月 イベント感想文 『Wein & Hike』に参加して

9月16日(土)はJCZの企画『Wein & Hike』でWeinfeldenの広々とした葡萄園をゆったりと散歩しながら、会員10人でワインを楽しみました。とても心地の良い晴れた秋日和で、所々あった坂では少し夏を思い出すような暑さでした。多少きつい坂を登って汗をかいても、皆でワインを飲みながら雑談や悩み事を話したり、うっとりするような景色を堪能したり、みんなで美味しいものを食べた記憶というもの**が強調されました。**最後には通りすがりの無人店で現地で手作りのアイスも頂きました。普段はあまり顔を合わせないような会員の皆さんにも会って話が出来て、とても楽しかったです。是非また来年も似たような企画ができると良いですね。(高木恵)



11月 イベント Kunsthaus Zürich 展覧会 Zeitのガイドツアー

時間は休むことなく刻まれています。KunsthausのZeit展では、ルネッサンスから現代まで、時の概念を表現してきたさまざまな作品と出会えます。パウルクレーゼンター研究員の柿沼万里江さんの解説で、広範囲にわたる多彩な展示がより一層興味深く感じられるはずです。

日時：11月29日(水) 11時～
 集合場所：Kunsthaus Zürich 旧館(Chipperfield)入り口
<https://www.kunsthaus.ch/>
 定員：20名
 入館料：大人23.-(学生、20人以上のグループの場合割引あり)
 Kunsthausのパスをお持ちの方、ICOM会員は無料。
 当日、水曜日はSammlungのチケットは無料。
 *11月22日(水)までに、JCZ HPイベント申込フォームより、またはメールでkikaku@japanswiss.chまでお申し込みください。

アフタヌーンカフェのお知らせ

例年11月は、どんよりとしたお天気が続いて気分も沈みがち。そんなときはカフェにいらしておしゃべりをしませんか。チューリッヒにいらしたばかりの方も、長い方もどなたも大歓迎です。

日時：11月9日(木) 14:00-16:00
 場所：チューリッヒJelmoli 3Fのレストラン
 申込：JCZ HPイベント申込フォームより、またはメールでkikaku@japanswiss.chまで



team 104 からのご報告とお礼

2023年9月24日、素晴らしい秋晴れの中、第12回東北大地震被災児支援のための茶室とパザーの催しを無事に終えることが出来ました。関心を寄せ食器や着物その他の寄付をしてくださった方々、事前・当日のお手伝い、そして当日お出掛け下さった方々の温かいご支援に心からお礼申し上げます。売上と寄付の合計CHF4918.55 (¥802,060)は、次の三県の被災児童のための教育基金に全額寄付いたします。



下記URL左より：いわての学び希望基金・みやぎこども育英基金・ふくしまこども寄付金



いわて



みやぎ



ふくしま

今までのご支援に心から感謝しつつ、今後とも宜しくお願い致します。

問い合わせ：池田 seiundo@bluwin.ch
 HP：team104.ch
 2023年10月 team104一同

EVENTS & FESTIVALS

チューリッヒ近郊 お出かけ情報

(URLの詳細は、HP：japanswiss.ch上の「チューリッヒ近郊お出かけ情報」をご覧ください)

サーカス・モンティ 11月1～26日 Kasernenareal 8004 Zürich
<https://circus-monti.ch/home/>

Auto Zürich 11月2～5日 <http://www.auto-zuerich.ch/>
 Messezentrum Zürich Wallisellenstrasse 49 8050 Zürich

トーンハレ Claridenstrasse 7, 8002 Zürich
 11月3日(金) 19時半 イザベル・ファウスト&フレンズ
 シューマンの室内楽

11月8、10日(水、金) 19時半
 ラフマニフ生誕150周年記念コンサート第3弾
 ジャナンドレア・ノセダ(指揮)
 フランチェスコ・ピエモンテージ(ピアノ)

11月13日(月) 19時半
 ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)メンデルスゾーン
 アンドレス・オロスコ=エストラーダ(指揮)
 コロンビア・ユース交響楽団

11月15、16日(水)デイヴィッド・ジンマン(指揮)
 ピョートル・アンドルシェフキ(ピアノ)
 ペートーヴェン、ブラームス

11月22日(水) 19時半 マルタ・アルグリッチ(ピアノ)
 シャルル・デュトワ(指揮)
 EPOS シューマン、ラヴェル、ペートーヴェン



ドルダー・グランドホテルのアフタヌーンティ
 11月3日～2024年4月28日の金～日
 The Dolder Grand Kurhausstrasse 65, 8032 Zürich

チューリッヒ歌劇場

ワーグナー作曲《神々の黄昏》11月5、9、12、18、24日、12月3日
 ラフマニフ生誕150周年記念コンサート第4弾 **おすすぬ!**
 11月11日(土) 19時 パーヴォ・ヤルヴィ指揮

レディズ蚤の市 11月5、26日(日) 11時～16時
 Tanzwerk101 Grosser Event Saal Pfingstweidstrasse 101,
 8005 Zürich <https://www.maedelsflohmarkt.ch>

ベジャール・バレエ団 11月9～12日
<https://www.musical.ch/de/bejartballet>
 Theater 11 Thurgauerstrasse 7, 8050 Zürich

『万引き家族』と精神分析 11月18日(土) 10時半
 Arthouse Piccadilly www.cinepassion.ch

黒田卓也トランペット ジャズ・ファンク・ヒップホップの融合
 11月18日(土)
 Moods im Schiffbau Schiffbaustrasse 6, 8005 Zürich
<https://www.moods.ch/takuya-kuroda-2023-11-18>

空港のZauberpark <https://zauberpark.ch/>
 11月23日～12月10日 18時～22時

ディズニーの『ライオン・キング』 11月23日～2024年3月10日
 Theater 11 Thurgauerstrasse 7, 8050 Zürich
<https://www.thelionking.ch>

第1回 Uetliberg クリスマスマーケット
 11月25日～12月17日
 Hotel & Restaurant UTO KULM Gratstrasse, 8143 Uetliberg
<https://utokulm.ch/uetliberger-weihnachtsmarkt>
 Kerzenziehen
 11月25日～2024年2月25日(金、土) 14時～、(日) 13時～
<https://utokulm.ch/kerzenziehen>

KETTE

Vol.172

坪井 悠佳さん
(Zürich 在住)

お仕事は？

ヴァイオリニストです。ガラテア・カルテット、カメラータ・チューリヒ、チューリヒ歌劇場、ルツェルン祝祭弦楽合奏団、テアター・リグブリックなどで演奏活動を行なっています。

今のお仕事に就いたきっかけは？

母が音大の楽理出身で、家では幼少の頃からピアノやエレクトーンを聴いて育ちました。兄が先にヴァイオリンを始めた影響を受け、私も4歳の時に、ヴァイオリンを始めました。子供の頃からぼんやりと、この仕事につくだらうなと思っていました。

スイスに来るまでのお話

小学校まで日本で過ごし、父の転勤でシンガポールに2年住んだ後、14歳の時にイギリスのメニューイン・スクールに留学しました。シンガポールに住んでいた時は日本の音高を受験する予定だったのですが、日本の先生に”もう海外に行っちゃいなさい”と言われ素直に従った形です(笑)。その後ロンドン王立音楽院を経て、チューリヒ芸術大学で学びました。スイスに来たのはアナ・チュマチェンコ先生という有名な教授がいたからです。

スイスにいらしてから

大学を卒業した後は、在学中に結成したガラテア・カルテットを中心とした演奏活動を始めました。またチューリヒ芸術大学で世界的名教師であるザハール・ブロン教授の助手を10年勤めました。学生ヴィザから労働ヴィザ取得をするのは至難の技です。

た。音楽家の仕事を書類で証明するのは大変でしたが、同僚、弁護士さん、カルテットの友の会のお力添えで何とか手することができました。そのおかげで今でも活動を続けられています。JCZ会員の大橋雅子さんとのデュオも結成20年を超えました。



スイス生活は如何ですか？

チューリヒはとても住みやすい街だと思います。ロンドンのような大都市にも住んでいたのですが、チューリヒは街の規模とか人との距離感もちょうどいい感じですよ。日本食も適度にあって、あまり困ることはないですね。学生時代は家族や友達が日本から遊びに来ると、スイスの観光スポットを回るのも楽しかったです。外国に電車でいけるという立地条件も魅力ですね。現在は夫と4歳双子男児の子育て奮闘中です。スイスは子供に優しいと感じますし、気軽に行けるスポットがいくつもあって恵まれていると思います。

ご出身は？どんな所？

生まれは東京です。その後小学校まで神奈川県川崎市に住んでいました。よみうりランドというテーマパークの近くでスイスほどではないですが、自然が多く山道では夜タヌキが出るような場所です。

好きな言葉、座右の銘は

人事を尽くし天命を待つ、です。よく演奏会やコンクール前にそう思っていました(笑)

スイスドイツ語に関すること

これが一番スイスに来て不思議な事でした。イギリスでは普通に住んでいる人の言葉を話していたのに、スイスでは努力不足かもしれませんが、標準語を話しスイスドイツ語は言っている意味はわかるけど話せない、、、。今は息子たちが保育園で現地語を習っているので、ペラペラになってね！と思っています。

これを皆さんにおしえてあげたい

ガラテア・カルテットでは最近クラシックにとどまらず、他のジャンルにも挑戦しています。Theater Rigiblickでは朗読と音楽を統合するプログラムをいくつか弾いています。今おすすめなのは映画音楽で有名なモリコーネの生涯を音楽とともに追う”Spiel mir das Lied vom Tod”です。またカメラータ・チューリヒはキッズプログラムをMKZ Florhofでやっていて、4歳から参加可能です。舞台上で演奏を聴いたりその後楽器に直接触れられたり、工作をしたりと楽しめるイベントになっていますので、お子様におすすめです！

会員の方へのメッセージ

JCZのイベントにはいつも楽しく参加させていただいております。クラシックコンサートは敷居が高いと思われがちですが、こちらでは気楽に聞けたりコンサート後にアペロがあり歓談できるようなコンサートもあります。

2023年12月2日(日)17時

シューベルト”鱒”

2024年1月7日(日)17時

ニューイヤークンサート

Villa Irniger, Schneckenmannstrasse 8, 8044 Zürich

ご予約は yukatsuboi@gmail.comまで。会員の皆様にお越しいただければ嬉しいです！

編集部よりそっと耳打ち情報

「来年1月28日に予定されている新年会で、坪井悠佳さんのピアソラが聴きたい！とお願いしてしまいました。ご快諾頂きましたので、会員の特権、至近距離で華麗な演奏をお楽しみ頂けます。新年会の詳細は追ってお知らせ致します。お楽しみに！」

編集後記

急に冷え込んだからか、風邪ひきさんが多いようです。皆様はお元気で過ごしてますか？

ただでさえ物哀しい秋に、ロシアのウクライナ侵襲だけでなく、イスラエルとパレスチナの戦争まで勃発してしまいました。心が痛み過ぎますが、私達に出来ることは、国際情勢に目を背けず、情報収集しながら自分の頭で判断し、戦争の拡大を阻止することしかありません。

そんな不安定な世界の中で、日本への航路も今までの以上の時間がかかり、遠さを実感しますが、スイスで出会えた会員の皆様同士、しっかり繋がっていったら、と思います。昨日はJCZ親睦会があり、初めて会った人も多い中、帰る頃には皆さんが仲良くなっていらしたのを嬉しく拝見していました。今回ご都合がつかなかった方、次の機会にはご一緒できますように…。(SN)

広告掲載のご案内

ジャパンクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告の掲載、フライヤー等の会報同封配送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部にてお送りください。

*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます

JCZ会報誌エーデルワイス
2023年11月号

発行責任者：青砥 玄(会長)

編集：中 東生 阿部 牧子

鎌田 裕子 市居 美帆

編集部専用メールアドレス

edelweiss@japanwiss.ch

チューリッヒ日本人会
JCZ Japan Club Zurich

Office of Honorary Consul

General of Japan

Utoquai 55, 8008 Zürich

www.japanwiss.ch

jcز@japanwiss.ch

